

合併浄化槽・コンポスター・電気式生ごみ処理機補助のお知らせ

市内各世帯から排出される生ごみの減量化及び推把としての資源化を図り、公衆衛生の向上と循環型社会の形成を目的に、市内に住所を有する方が平成17年度にコンポスター・生ごみ処理機（電気式）を購入する場合、補助金の交付を行います。

	コンポスター	電気式生ごみ処理機
購入方法	市役所、各支所で購入できます。	各販売店 販売後、1年間の性能保証があるものに限りです。
補助金額	2,000円（本体価格 5,250円） 1世帯につき年間2個まで	上限額20,000円（価格は機種によって異なります） 1世帯につき年間1基まで
申請方法	市役所、各支所窓口で購入して下さい。 その場でお渡しできます。	交付申請書の提出（購入前） ※購入後1カ月間の申請は受理できます。 実績報告書の提出（購入後）
必要書類等	印鑑	申請時 見積書・カタログ・納税証明書 実績報告時 売上証明書又は領収書の写し・設置写真・ 保証書等の写し・振込先が確認できる物・印鑑

○合併処理浄化槽設置整備補助

目的

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併浄化槽の設置に際し補助金の交付を行うものです。

合併浄化槽とは

トイレが水洗になるだけでなく、雨水を除く生活雑排水（炊事場・洗面所・風呂場等）を合併浄化槽内で処理し、河川等に排水するものです。

補助対象地域

公共下水道事業の認可区域を除く阿蘇市内全域

補助の対象

補助対象地域に住所を有し、居住を目的とした住宅で、5人槽、7人槽、10人槽のいずれかの合併処理浄化槽を設置される方

※貸家、別荘及び交付決定以前に着工したものについては補助対象となりません。

補助金の額

区分	基準額
5人槽	354,000円
7人槽	411,000円
10人槽	519,000円

申請手順

- ①申請：関係書類を添えて市役所へ提出
- ②着工前検査：申請後に、保健課より工事着工前確認
(確認後に工事に取り掛かって下さい)
- ③実績報告：工事完了後、関係書類を添えて市役所へ提出
- ④竣工検査：実績報告後に申請者、業者立会いにより行い、適正であれば補助金の交付をします。

●お問い合わせ：阿蘇市役所保健課 Tel：22-3167

祝祭日のごみの直接持ち込み について

大阿蘇環境センター未来館へのごみの持ち込みは、平日と毎月第4土曜日でしたが4月から祝祭日（土・日曜日は除く）のごみも直接持ち込みが可能となります。

＝持ち込みの日時＝

毎週月曜日～金曜日 9：00～15：00
 祝日・祭日（土・日曜日は除く） 8：30～11：30
 毎月第4土曜日 8：30～11：30
 ※祝日・祭日に関わらず土曜日は毎月第4土曜日
 のみ受け付けます。
 ※持ち込む際は、分別し、必ず指定ごみ袋を使用
 して下さい。

4月1日からごみ袋料金が次のとおり改定されます。

区 分	色	新価格(10枚入り)
固形燃料ごみ 大(可燃ごみ)	黄色	210円
固形燃料ごみ 小(可燃ごみ)	黄色	105円
不燃ごみ(小金属・ガラス類)	青色	262円
資源ごみ(ビン・カン類・ペットボトル・古布)	透明	262円
業務用	緑色	525円

◎ごみ減量化についてお願い

近年のごみの量の増加に伴い、ごみ処理費用も年々増加し、市町村財政に占めるごみ処理費用の割合が多くなってきているのが現状です。そこで、皆様一人ひとりがごみの減量化に努め、少しでもごみの出す量を減らしていただきますようお願いいたします。

また、指定ごみ袋の料金には「ごみ処理費用」の一部が含まれております。

●お問い合わせ：阿蘇広域行政事務組合 大阿蘇環境センター未来館 Tel：24-5353

平成17年
4月から

重度心身障害者医療費助成制度の 支給日等が変わります。

受給者の皆様から申請いただく医療費を滞りなく確実に助成するため、平成17年4月から毎月の助成申請 締切日、支給日が右のとおり変わります。

区 分	3月まで	4月以降
申請締切日	毎月15日	毎月10日
支 給 日	毎月25日	毎月末

※各期日が閉庁日の場合、その日の直前の開庁日

●お問い合わせ：阿蘇市福祉課総合福祉係
Tel：22-3145(内線1120)

(((熊本県手話奉仕員養成講座受講者募集)))

(財)熊本県ろう者福祉協会

聴覚障害者の社会参加と自立を促す手話奉仕員の養成講座を開催します。
みなさんの参加をお待ちしています。

●開催日時

○入門過程 4月18日～8月1日の毎週月曜日(18：45～20：45)
15日×2時間＝30時間

○基礎課程 8月29日～平成18年3月20日の毎週月曜日
25日×2時間＝50時間

※基礎課程は「入門過程」を終了した方に限ります。途中からの受講はできません。

●会 場 阿蘇市農村環境改善センター

●申込期限 4月11日(月曜)

●申 込 先 阿蘇動物病院 小嶋 Tel：32-3218/Fax：32-3613
E-mail oshima@aso.ne.jp

地域が『元気』ってうれしい

まちづくりグループの活動が少しずつ実を結び始めました。今回紹介するグループは、地域は異なりますが、寂しくなりつつある地域に活気を取り戻し、誰からも愛される場所にしたという人々。そのために、練り出されたアイデアの数々…。

「実行するのは大変」「だけど、やらなきゃ」そんな思いや行動が、周囲の人たちの気持ちまで動かし始めました。



平成16年度のくまもと景観賞に、阿蘇一の宮門前町商店街が選ばれました。同商店街は湧き水の水基や桜、竹などを植栽し、共通の書体の看板を組み合わせた町並みで「町に豊かな風情を作り出した」と評価されました。これまで仲町繁栄会、門前町会、わかやもん會が協力。平成14年から町並みの植栽を始めまし



今では森に包まれた商店街になり水基めぐりの道が定着しています。表彰式は2月7日熊本市であり、わかやもん會の杉本真也さんが潮谷義子知事から表彰状を受けました。

門前町商店街の町並みがくまもと景観賞に輝きました

街角に
小粋に
軽気

立ち寄れる空間

第6回 おひなさま展開催



▲期間中、一の宮町史編さん委員の嘉悦沙さんによる「桃の節句」や「火振り神事」についてのお話もあり、メンバーや遊びに来た子ども達が熱心に聞き入っていました。

女性だけの地域づくりグループ「みやび+1^{プラスワン}（代表：森下幸美さん）」では、仲町通り商店街の空店舗を活用し、今年も2月24日から1週間「おひなさま展」を開きました。メンバーそれぞれ、ひな人形や古い家具、手作りおやつを持ち寄り展示。気軽に寄れて楽しいと、近くの子どもやお年寄り、また観光客にも喜ばれました。

みやび+1^{プラスワン}が贈るアイリッシュハーブ 春の音コンサート

演奏者：永山友美子氏（武蔵野音大音楽科卒）

日時：3月25日（金）

開催 18：30／開演 19：00

場所：阿蘇神社齋館

チケット：大人1,000円 小中高生500円

※収益金の一部は中越地震のお見舞にされます。

問い合わせ先：Tel：22-5108（森下）



▲写真は2月24日、湯の宿入船で行われたNHKの中継取材の
もよう（中央が久保アナウンサー）

ずらり並んだ

阿蘇イチゴの創作料理に
アナウンサーも感激！

2月の新聞テレビ欄に何度も登場した「うちのまき」の文字。近頃テレビ番組にひっぱりだこのまちづくりグループは、内牧商店街（17店舗）の皆さん。
「Tomattoベリーな街」という企画で、夏には阿蘇で採れたトマト・ブルーベリーを使ったオリジナルメニューを各店で提供。

その後も話し合いを繰り返し、よりパワーをつけ2〜3月は「阿蘇いちご」を使った限定メニューで勝負に。この人々の情熱と17店舗が生み出す意外!? なメニューの数々が「まちの魅力」となり多くの人たちの興味をひきました。この企画は3月末で終了しますが、これからも訪れた人に「また来てみたい」と思われる「まちづくり」ががんばってほしいですね。

※「まちのづくり」のコーナーでは地域の活性に一役かっている人たちを紹介いたします。情報お待ちしています。

きさらぎいち

如月市

客足が遠のく冬の商店街（内牧1区～内牧5区）を週ごと周り、屋台やゲームを催した2月のみ営業の「如月市」。寒かったけど、お客さん達はみんな「笑顔」でしたね。
商店街の皆さん、また来年がんばりましょう!!

【ガイド心得】

- 一、内牧が好きであること
- 二、やる気があること
- 三、好奇心旺盛であること

ガイド募集

「うちのまき案内人協会」では、内牧を案内して頂く仲間を探しています。3月末に研修会を開きますので、興味のある方、一緒にやってみたい方は是非ご連絡下さい。

うちのまき案内人協会
阿蘇市内牧235
(代表：井野)
Tel：32-0445
Fax：32-0630



商店街がアイデアを持ち込み「阿蘇の特産イチゴ」を100%使用してこんなステキでオリジナルなメニューが揃いました。（写真は一部）
問い合わせ先 Tel：32-5933（実行委員会事務局）

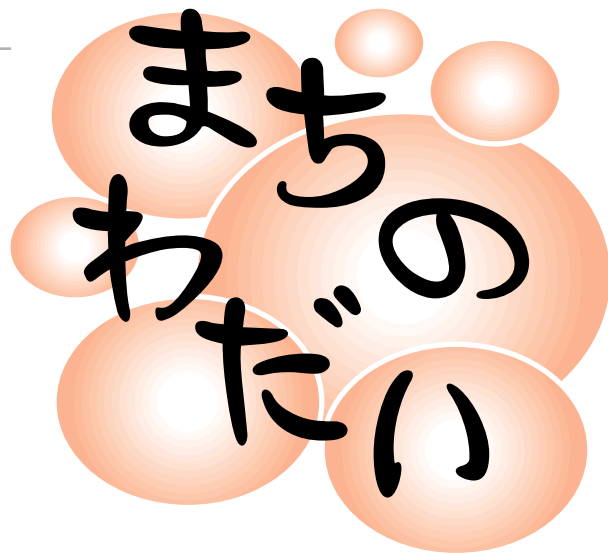
県農業コンクール大会 ～阿蘇市から2部門受賞～

2月14日、第45回熊本県農業コンクール大会表彰式が熊本市で行われ、組織部門で阿蘇農業協同組合中部アスパラ部会（部会長 室 治夫さん 西3区）が優賞及び九州農政局長賞を、自立経営部門で（有）やまとんファーム（代表 大和健一さん 今町）が特別賞をそれぞれ受賞しました。

本大会は、農業現場の優良事例を発掘し、農業に対する県民の理解を深め、農業・農村の活力ある発展に資することが目的。

アスパラ部会は、平成10年に19名で部会を設立した若い組織ですが、設立以来一貫した栽培技術向上のための研修会や共同選果による省力化に取り組み、現在では部会員39名、栽培面積6.5haを誇り、販売金額も1億円を突破しました。

一方、（有）やまとんファームは、後継者の就業環境整備、[※]SPE豚による環境保全型畜産経営に取り組み、常に消毒の徹底、雑菌の進入ゼロ対策（豚舎に入る前は入浴・洗髪し、一度外に出ればまた入浴する等）を実行。こうした安全・安心へのこだわりが評価され、今回の受賞となりました。



▲中部アスパラ部会のみなさん



▶大和健一さん・とよ子さん
（有）やまとんファーム



※SPE(Specific Pathogen Free)

あらかじめ指定された病原体を持っていないという意味で、高度な衛生管理のもと抗生剤等の使用を極端に抑えることができ、柔らかくて美味しい豚肉生産を可能とする。



盛り上がりました 小学生の元気バレーと 保護者の応援合戦

県内26チームが参加した「第14回大阿蘇旗少女バレーボール大会」が、2月27日に一の宮の4つの会場で行われました。

市内からも宮地小、中通小、阿蘇西小、内牧小、阿蘇ヤングVBCが出場。優勝は、小学生とは思えない攻撃力を見せた白山小（熊本市）でした。

この日は、大変冷え込み、特に天草から来た小学生はカチンコチン。しかし、試合が始まると元気に飛び回り、全員よくがんばりました。



▲一の宮中学校体育館で行われた開会式のもよう

阿蘇市の雇用問題について考える



熊本労働局・阿蘇公共職業安定所等主催の「地域&雇用シンポジウム」が2月25日、内牧のホテル角萬で開かれ、約200人が参加。予想以上の参加数に雇用問題に対する関心の深さがうかがえました。

熊本学園大学 荒井勝彦氏の基調講演に続いて行われたパネルディスカッションでは、下角圭司熊本労働局部長、草野武夫阿蘇地域振興局振興調整室長、阿蘇市から阿蘇町観光協会の小笠原徹朗会長、阿蘇郡ブロック商工会の内藤雄二青年部長、ASO田園空間博物館準備会の橋口靖広報部長がパネリスト。コーディネーターは、元TKUアナウンサーの矢部絹子氏。

～パネルディスカッションの一部を紹介します～

矢部氏 事業所で雇用される中で最近感じることは、小笠原氏 若い職員のほとんどが県外から来ている。都会の若者は田舎にあこがれている。自分がしたい仕事があれば、阿蘇で仕事をしたいと思っている。

内藤氏 うちが少数雇用なので、採用は即戦力を求めるが、まず出だしの挨拶や接客など、社会人としてのマナーが欠けていることが多いのはがく然とする。

矢部氏 福岡にも仕事があれば田舎で生活したいという人が多い。ただ実際、田舎に住んでも受け入れ体制がよくないと聞く。

橋本氏 私もITターの一人だが、田舎暮らしをしようと思うなら「ここに住むんだ！」という強い意志が必要。地域のことは何でも参加し、溶け込む努力を。

下角氏 阿蘇管内における有効求人倍率は0.6倍と県内の中で最も低い。さらに、求職者と事業所との労働条件等の違いで、就職できないケースも多い。

矢部氏 事業所が求人する際、最も求めるものは？

ハローワーク ①意欲がある ②即戦力がある。反対に求職者は①賃金 ②休日 ③勤務時間 を条件にあげています。

小笠原氏 我々事業主も努力し賃金を上げ、雇用環境をよくし、魅力ある事業所にしなくてはならない。

矢部氏 今後、阿蘇市における産業発展とは？

草野氏 今後、阿蘇市の仕事の増加を図ると、この恵まれた自然を有効利用した観光業が市の戦略的な産業だろう。工業立地がよいとは限らない。あくまで阿蘇にふさわしい産業で発展を。

小笠原氏 新幹線の全線開通・国道57号線拡張工事が終わるのもそう遠い話ではない。受け皿づくりも早期課題。

内藤氏 青年部でも、こういった話し合いをしたい市になったのだから、もっと若者が集まる機会をつくってほしい。必ずいい意見が出るはず。

大事に使わせて いただきます

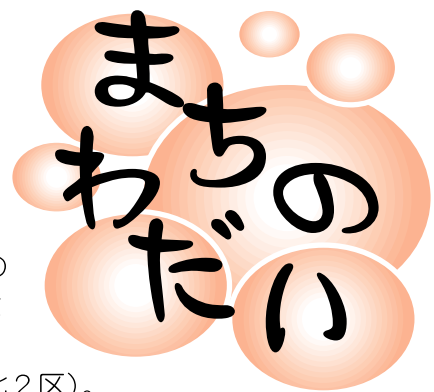
(有)阿南商会(一の宮町宮地)から阿蘇市誕生を記念して、車椅子3台が市に贈られました。

2月23日に、同商会代表取締役の阿南繁年氏から市原新市長職務執行者に車椅子が手渡され、「必要とされる来庁者の方に有効に使っていただけるよう配置いたします。ありがとうございました」とお礼を述べました。

車椅子は、庁舎ロビーに配置しています。



阿蘇市と誕生日が一緒です。



2月11日、阿蘇市の誕生と同じ時に元気な産声を上げたのは、

「白石舞桜ちゃん」(北2区)。

雅洋さん(29)・有子さん(27)の次女として誕生しました。

舞桜ちゃん誕生についてお父さんは「予定日は3月6日。わざわざこの日を選んだ?のか、24日も早く生まれてきました。記念すべき合併の日に生まれたので、てっきり市から記念品がもらえるのかと思っていましたよ(笑)。家族思いの優しい子に育ててほしいですね」と、デレデレの白石さん。次は市制30周年の時に取材しますから、ステキな女性に育てて下さいね。

オリンピック選手が阿蘇市でプレー

「Vリーグ女子大会」華やかに開催

2月20日に阿蘇体育館(内牧)で、Vリーグ女子阿蘇大会(パイオニア対武富士・NEC対シーガルズ)が行われ、熱戦が展開されました。

この日、体育館は有名選手を一目見ようと早くから観客が押し寄せ、超満員。2,400人が間近に見るプロの技に息をのみました。

なお、今大会は阿蘇郡バレーボール協会及び登録チーム、阿蘇高校バレー部・バスケットボール部等、約200人のボランティアスタッフの協力で開催されました。このような大きな大会を成功に導かれたこと、地元子ども達に夢と感動を与えていただいたこと、すばらしいですね。



▲吉原・佐々木・杉山・大友・高橋・多治見選手らのアタック炸裂!

義援金16万円集まる 中越地震チャリティーコンサート



一の宮町温泉愛好会(岩下誠会長)が、1月22日に国立阿蘇青年の家で「新潟県中越地震助け合いの夕べ、阿蘇チャリティーコンサート」を開きました。

コンサートには343人が参加。第1部は地元の皆さんの歌声の調べ、第2部はピアノの調べ、第3部は全員合唱などがありました。会場には義援金募集箱が置かれ、参加者から集まった義援金は161,131円にのぼり、旧一の宮町を通じて新潟県災害対策本部に送金されました。